

2020年度武蔵大学Web説明会FAQ

No	カテゴリ	質問項目	回答
1	PDP (パラレル・ディグリー・プログラム)	PDP (パラレル・ディグリー・プログラム) の留学制度について、新型コロナウイルスが落ち着かない中、来年度の留学はどのような予定になっていますか？ 万が一留学が中止の場合、カリキュラムはどのように変更になるのでしょうか？	<p>PDPは、武蔵大学のキャンパス内でロンドン大学のカリキュラムを履修し、武蔵大学とロンドン大学両方の学位取得を目指すプログラムです。留学は必須ではありません。</p> <p>PDP履修（ロンドン大学への登録）には1年次8月末までにIELTSオーバーオール5.5（各項目5.5）以上の取得が必要です。この語学要件を満たすために1年次の6～7月にセブ島語学研修の機会を設けていますが、今年度は代替の国内研修としました（結局、オンラインでの実施となっています）。</p> <p>PDP履修には高い英語力が必要です。セブ島での研修の場合と同程度のレッスン数を確保するなど英語力向上のために最大限の工夫をしています。</p> <p>来年度のことはまだ見通せませんが、セブ島への渡航が難しい場合はやはり代替プログラムを提供することになります。また希望者にはLondon School of Economics and Political Science（LSE）やSingapore Institute of Management（SIM）への留学機会も提供しています。LSEは武蔵大学で提供しているロンドン大学のプログラムの学術監修をしている世界トップクラスの大学で、SIMは武蔵大学と同じようにロンドン大学のプログラムを提供しています。残念ながら今年度の協定留学は派遣中止となっていますが、来年度以降、状況が改善すれば派遣を再開する予定です。</p>